



東京部会(第51回)

日時:	2012年9月25日(火) 19:00-21:00
場所:	日本大学経済学部7号館13階会議室3
参加者:	篠原(同志社大)、加藤(日本大学)、中川(日本大学)、新井(小石川中等)、升野(筑波大学附属中)、高橋(桜修館中等)、大倉(県立松戸向陽)、杉田(県立千葉西)、石山(東証)、榊原(東証)、鈴木(日本経済教育センター)、中沖(清水書院)、高橋(新潟大学)、大川(川口市立里中)[順不同]

【内容要旨】

1. 本日新たに参加された、高橋先生(新潟大学)、大川先生(川口市立里中)から自己紹介があった。
2. 新井から資料をもとに、夏の経済教室の総括が報告された。全体で1000人を超えたこと、後援、ロジ関係もスムーズだったこと、内容的には、東京中学での河原先生の実践報告が好評だったこと、東京高校での講演や講義は好評だったがやや内容が重たかったかもしれないなどが報告された。
3. 東証石山さんから資料をもとに、広島は現場の支援が難しかった、名古屋の高校は日証協のセミナーの影響で参加者が減少した可能性があること、東京では中高とも過去最高であったことなどが報告された。また、出張扱いのための文書の要求、授業の動画を見せてほしいとの要望、若い先生方が増えたことなど新しい傾向や要望が報告された。
4. 以上を受けて参加者間でフリーディスカッションが行われた。篠原代表からは、東京での講演内容からゲーム理論をどこまで中高の教育に入れるべきかの検討が必要との指摘があった。また、来年度の日程、内容の検討がされたが、10月部会でさらに詰めてゆくことが確認された。
5. 篠原代表から、活動報告があり、札幌部会で高校入試問題の検討が行われていること、定期試験をもちよりそこから経済の授業を検討してゆこうという動きがあることが報告された。また、福井大学が主催するワークショップ、札幌部会、釜石、稚内でのワークショップの企画など、これからの企画とその進行状況が報告された。また、支援団体への協力の在り方が検討された。
6. 来年3月に予定されている年次総会(京都)では、法と経済からどう労働問題を取り上げるかをテーマとして、シンポジウムを企画することが提案された。シンポジストには経済学者、法学者、現場での実践家を予定。問題提起と討論で構成することで、出席者を検討してゆくことが確認された。
7. 新井から、経済教育学会での自由研究で発表する「経済教育と教科書」のレジュメが配布され、簡単な紹介を行った。

以上
(文責 新井 明)

次回開催予定: 10月23日(火)19:00~21:00。日本大学経済学部7号館13階 会議室3

- 議題: 1. 総会の内容の決定
2. 実践事例の紹介とディスカッション
 3. 次年度の夏の経済教室について
 4. その他